

フォトニュース

人権を考える町民のつどいを開催

▼8月18日、文化体育館小ホールで「人権を考える町民のつどい」を開催し、約140人が参加しました。

つどいでは、丹波の森国際音楽祭シュールベルティアーデたんば音楽監督の畑儀文さんを講師に迎え、音楽を介して「人々の心がふれ合う場をつくる」をモットーに、八つの小さな島の子どもたちと取り組んだ「うた☆島めぐり」の活動内容の上映や、唱歌・童謡・シュールベルト・ポップスなどピアノの弾き語りで、音楽を通じて人と人とのふれあいについて考えるきっかけとなりました。



「内馬場の森」に案内看板を設置

▼8月26日、日頃からこの森で枯れ木の伐採、下草刈り、遊歩道の整備をしている森林ボランティア「猪名川町里山倶楽部」の皆さんによる手作りの案内看板が完成し、登山口に設置されました。

これからの行楽の季節、自然豊かな内馬場の森へ皆さんもぜひ足を運んで散策してみてください。天気が良ければ、大阪市内を一望することができます。



明治の町村事務には町村独自の公共事務と、国・府県・郡行政のうち教育など町村に属する事務と司法警察補助という、機関委任事務とがありました。

明治政府は機関委任事務の費用を町村負担しました。そして町村運営には、町村有財産(基本財産)からの収入を主に、手数料と使用料を加えたものを町村歳入の基本として運営する「不要公課町村」という方針をとりましたが、実際には不可能で、中谷村の場合でも村税以外の収入はほとんどありませんでした。

中谷村では村費支出のトップが教育費で、それに次ぐ役場費とで大部分を占め、教育に力をそそいだことが分かります。

また明治期の歳出の変化を見ると日清・日露戦争終了後に行財政費が急増しており、両戦争の影響がうかがわれます。明治29(1896)年8月30日夜に近畿地方を直撃した台風による大災害の復旧も、中谷村・六瀬村に大きな負担となりました。



明治29年県知事あて
水害善後策意見書

サマーボランティアスクールを開催



▼7月21日～8月31日まで町社会福祉協議会がゆうあいセンターなどで、サマーボランティアスクールを開催しました。

8月23日には、未就園児の親子を対象とした「あそびのひろば(ミニ夏まつり)」が開催され、猪名川高校の生徒や大学生など8人がボランティアとして参加しました。

あてや輪投げ、ヨーヨー釣りなどの手伝いをして14組36人の親子と楽しみながら、ボランティアの大切さや喜びを体験しました。

▼敬老福祉月間の9月7日、福田町長が今年100歳を迎えられる森田綾子さんを訪問し、祝状と記念品を贈呈しました。

森田さんは「おかげさまで長生きしています。ご飯をおいしくいただいています。このようにお祝いをしていただいていた方がとうございます。」と語られました。

9月6日現在、町内の100歳以上の高齢者は19人(男3人・女16人)。最高齢者は、明治41年生まれの104歳の女性です。



町長が長寿のお祝いに高齢者を訪問

ご利用ください

丁寧に彫り込みました



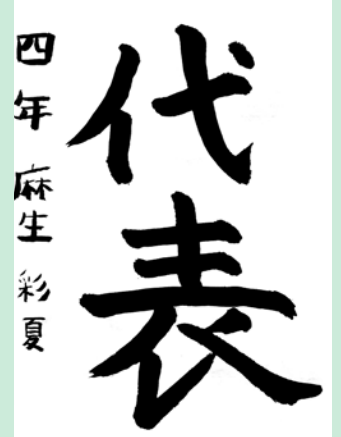
▲自作した三線を描きました。ダイナミックに表現できています。
田中 千咲さん(5年)

▼自作した三線を描きました。背景に沖縄の海をイメージしました。
長瀬 元成くん(5年)



松尾台小学校

▼一画一画しっかり書いています。「折れ」の筆使いも上手です。
中村 萌恵さん(3年)



▲「はね」「はらい」に気をつけて、ていねいに書けました。
麻生 彩夏さん(4年)